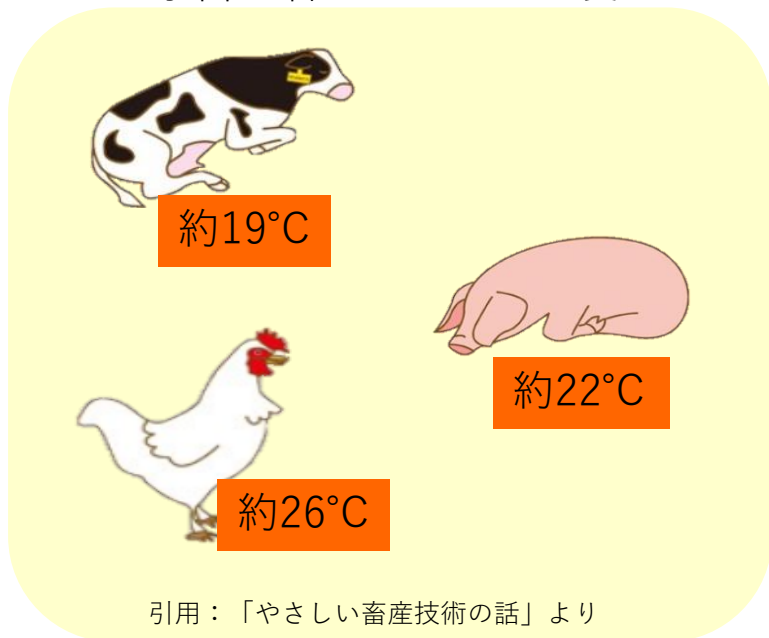


# 家畜における暑熱被害に備えるために

家畜が暑さを感じる温度



畜産への被害

家畜のへい死

乳量の低下

食欲不振

繁殖能力の低下

## 暑熱被害を防ぐためには、事前の「備え」が重要です

- 家畜の体感温度の低下に努める。**  
飼育密度の緩和、換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水、散霧を行い家畜の体感温度を低下させることが重要です。
- 畜舎環境を改善する。**  
寒冷紗やよしずによる日除け、屋根裏・壁・床への断熱材の設置及び屋根への消石灰の塗布等を行うことが重要です。
- 飼養管理**  
良質で消化率の高い飼料の給与、ビタミンやミネラルの追給及び清浄で冷たい水の給与をすることが重要です。
- 飼料作物の管理**  
夏枯れ等により草勢の低下が見られた場合には、必要に応じて追播や、は種直後の雑草防除等適確な維持管理作業を行うことが重要です。

